

## 平成31年度事業報告

今年度終盤には、全世界が混乱に陥る新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国内でも令和2年1月下旬に感染者が確認をされて以降、感染者が爆発的に拡大する状況があり、本会も事業運営に大いに支障をきたす事態となりました。

本会も、感染拡大防止の観点から2月以降の事業を中止や延期とする対応を行ったことで、地域の皆様に大変なご心配とご不便をお掛けすることとなりました。

厚生労働省では、地域共生社会の実現に向けて、個人や世帯が抱える複合化・複雑化した課題等への包括的な支援や、分野をまたがる総合的サービスの提供支援を行う公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換を進めています。

それらの状況を踏まえ、平成31年度も第3期羽曳野市地域福祉活動計画及び市の第3期羽曳野市地域福祉計画との連携を図りながら、「一人ひとりの想いをつなぎ 結びあう地域づくり」を基本理念に、だれもが住み慣れた地域で安心して健康で暮らせる社会の実現をめざして、区長や民生・児童委員をはじめとする地域の皆さまと共に取り組みました。

地域福祉活動では、各校区の校区福祉委員会が主体となって実施していただいている活動に参画・支援を行い、地域住民による支えあい助けあいを促進するとともに、地域課題の解決に向けて努力しました。

個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談をはじめ、保育園で行っているスマイルサポーターによる相談を行い個別の課題解決に向けて努力しました。また、コミュニティソーシャルワーカーが中心となり、医療・福祉専門職・学校など分野を越えた専門職のネットワーク構築に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少・失業した方に対し、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の相談・受付業務を行っています。また、併せて生活困窮者に寄り添った適切な相談支援も行っています。

在宅福祉活動では、訪問介護事業、居宅介護事業など利用者に寄り添った介護事業を行いました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金、献血推進事業、災害時義援金活動に取り組み、多くの皆さまからご支援をいただく事が出来ました。

「あおぞら保育園」・「ベビーハウス社協」の2カ所の認可保育園では、安心安全な保育園として園児の健やかな成長を願い、保護者に寄り添った保育サービスに努めました。「あおぞら保育園」においては、更なる安定した運営を行うため、園舎土地等を取得し安心安全な保育をより一層目指します。園そして、地域の子育て支援の拠点として、育児相談や園庭開放などを実施し、保護者や地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園運営を行い、財政運営にあたっては経費削減に努め健全化を図りました。

当会が実施する自主事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの住民からあたたかいご協力をいただき、平成31年度は昨年引き続き安定的な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、自主事業においても、健全な運営を行う事が出来ました。

事業ごとの取り組み内容は以下のとおりです。

## 平成 31 年度 事業 報告

### ■ 役員会議

#### ・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和元年6月3日	羽曳野市役所 別館2階研修室	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度収支決算について 3. 定款の一部変更(案)について 4. 理事・監事の選任(案)について	13人
令和元年6月18日	羽曳野市役所 別館3階会議室	1. 会長・副会長の選出について 2. 顧問の選任について	13人
令和元年12月18日	保健センター	1. 副会長の選出(案)について 2. あおぞら保育園用地の取得について	11人
令和2年3月3日	保健センター	1. 平成31年度 第1次補正予算(案)について 2. 令和2年度事業計画及び予算(案)について 3. ベビーハウス社協園長選任(案)について	15人

#### ・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和元年6月18日	羽曳野市役所 別館3階会議室	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度収支決算について 3. 定款の一部変更(案)について 4. 理事・監事の選任(案)について	20人
令和元年12月26日	保健センター	1. あおぞら保育園用地の取得について	15人
令和2年3月13日	羽曳野市役所 A棟中東会議室	1. 平成31年度第1次補正予算(案)について 2. 令和2年度事業計画及び予算(案)について	15人

・監事監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和元年5月20日 5月24日	別館3階特別会議室 社協事務局	平成30年度監査	2人

■ 組織強化

自主財源確保の福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金（令和2年3月31日現在）

平成31年度 2,083,722円 積立金額 129,166,053円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

4,727,090円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

241,000円

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名称	発行回数	発行月等	備考
社協だより	年4回発行	5月・8月・10月・1月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年4回発行	3・6・9・12月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年12回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	———	随時更新 <a href="http://www.hasyakyo.net/">http://www.hasyakyo.net/</a>	
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・施設部会 ・在宅部会 ・地域密着部会

## ■ 地域福祉活動

### ・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
令和元年5月24日	校区福祉委員会連絡会	保健センター4階会議室
令和元年7月16日	子育てサロン交流会	市役所別館2階研修室
令和2年2月19日	小地域ネットワーク活動リーダー研修会	国際交流センター

### ・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋げました。

### ・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

平成25年12月に結成した福祉施設連絡会において、総会および研修会を開催し今後の取組みについて話し合うとともに、それぞれ社会福祉法人間での情報交換・交流を深めました。

今年度も、大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業金を受け市内社会福祉法人を紹介するホームページを立ち上げました。

総会及び研修会	令和元年7月31日/羽曳野市保健センター 4階会議室 研修会 テーマ 「多様性（ダイバーシティ）の理解と人権」 講 師 NPO法人 えんぱわめんと堺 代表 北野 真由美 氏
役員会	令和元年6月19日・8月22日・11月21日 令和2年2月20日
ホームページ作成委員会議	令和元年11月19日・令和2年1月14日
大阪府福祉施設連絡会情報交換会	令和元年10月25日 大阪府社会福祉協議会
共催事業	令和元年5月5月 市民フェスティバル出店（法人紹介のDVD等の放映）  令和2年2月14日 羽曳野市・藤井寺市・柏原市3市合同研修会

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ地域福祉の増進に寄与しました。

校区名	各事業の実施箇所数					小地域ネットワーク ※2	雅び ※3
	いきいきサロン (喫茶サロン含む)	ふれあい食事サービス	地域リハビリ事業 (百歳体操含む)	世代間交流	子育て支援 こどもの居場所 (サロン)活動 ※1		
1 古 市	2	3	6	1	1	H11	H15
2 高 鷲 北	2	2	4	2	1	H11	H14
3 埴 生	7	10	6	1	2	H13	H16
4 埴 生 南	13	15	5	1	1	H12	H16
5 羽 曳 が 丘	1	1	3	1	1	H10	H14
6 丹 比	4	0	1	1	1	H11	H16
7 駒 ケ 谷	0	6	0	1	1	H14	H17
8 古 市 南	7	3	2	2	2	H14	H15
9 西 浦	7	5	3	1	1	H13	H18
10 西 浦 東	1	7	3	1	1	H12	H24
11 恵我之荘	2	5	1	4	2	H12	H14
12 白 鳥	4	7	4	2	1	H12	H15
13 高 鷲	2	9	3	0	1	H10	H14
14 高 鷲 南	6	6	2	2	1	H10	H14
合 計	58	79	43	20	17		

※1 古市校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2 小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※3 ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティネットの確立を目指す活動（設置年度）

## ・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図りました。

日付	学校名・学年	派遣ボランティア	内容
令和元年11月20日	高鷲小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
令和元年 9月30日	白鳥小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
令和元年 9月17日	埴生南小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
令和元年 9月20日	古市小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
令和元年11月22日	埴生小学校・3年生	当事者とガイドヘルパー	視覚障がい者の日常生活の話を聴く
令和2年 2月 4日	西浦東小学校・3年生	筆記通訳グループはびきの	聴覚障がい者の日常生活の話を聴く 手話と要約筆記

## ・コミュニティソーシャルワーカー事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動にいかされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

### ◎CSW介入の必要性

- ・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。
- ・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
- ・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。

### ◎CSW介入の成果

- ・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

### ◎最近多くなっている相談

- ・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまう事例（50代ひきこもりの子・80代高齢親子）
- ・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例 など

① 地域支援活動

	東 部	西 部	合 計
<u>第3期羽曳野市地域福祉計画の推進</u> 第3期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、 羽曳野市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自 立支援推進会議、要保護児童対策協議会、市CSW連絡会、中河内・南河 内CSWブロック会議、エリア・ランチ会議、大阪しあわせネットワー ク羽曳野市CSW・スマイルサポーター連絡会等	35回	10回	45回
<u>住民懇談会の開催</u> 子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議	52回	64回	116回
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援	21回	0回	21回
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	5回	6回	11回
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	6回	6回	12回
<u>地域拠点へのアウトリーチ（出張相談）</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」 コミュニティひろば、西浦ほっとサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり ふるなん高齢者パソコン教室、ふるなん喫茶「絆」、喫茶サロン「いしか わ」、等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付	37回	5回	42回

② 個別支援活動

(単位：件)

相談内容別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	35	21	56
生活に関する身近な相談	49	20	69
健康・医療に関する相談	54	17	71
生活費に関する相談	20	4	24
就労に関する相談	6	0	6
多重債務に関する相談	3	0	3
財産管理・権利擁護に関する相談	2	2	4
子育て世帯に関する相談	1	1	2
DV・虐待に関する相談	4	1	5
災害時要援護者に関する相談	18	0	18
その他	34	6	40
合 計	226	72	298

(単位：件)

相談対象者別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
高齢者	76	24	100
(うち) 一人暮らし高齢者	54	19	73
(うち) 高齢者のみの世帯	22	5	27
(うち) その他的高齢者	0	0	0
障がい者 ※1	7	4	11
(うち) 身体障がい者	1	1	2
(うち) 知的障がい者	1	0	1
(うち) 精神障がい者	5	3	8
子育て中の親子	9	2	11
一人親家庭の親子	5	0	5
青少年	0	0	0
生活困窮者	11	2	13
社会的孤立 (ひきこもり)	11	3	14
その他 (一般)	53	11	64
合 計	172	46	218

※1 障がい者においては、重複障害の方を「1」と数えています

### ・生活困窮者自立支援事業

だれもが生活困窮に陥るかもしれない恐れがある社会の中、生活困窮のさまざまな原因に対し、専門の支援員が相談に応じ支援計画を策定し、その方にあった自立に向けて支援を行います。

内 容		件数
新規相談受付件数 (本人同意なしを含む)		244
新規相談申込件数 (本人同意ありのみ)		163
支援決定・作成プラン件数(再プランを含む)		105
生活困窮の原因	病気	25
	けが	0
	障害 (手帳有)	8
	障害 (疑い)	7
	自死企図	0
	その他メンタルヘルスの課題	26
	住まい不安定	10
	ホームレス	0
	経済的困窮	85
	(多重・過重) 債務	39
	家計管理の課題	20
	就職活動困難	16
	就職定着困難	9
	生活習慣の乱れ	1



	社会的孤立（二一ト・引きこもりを含む）	10
	家族関係・家族の問題	15
	介護	6
	子育て	4
	不登校	1
	非行	0
	中卒・高校中退	1
	ひとり親	12
	DV・虐待	3
	外国籍	1
	刑余者	0
	コミュニケーションが苦手	3
	本人の能力の課題（識字・言語・理解等）	6
	被災	0
	その他	13
	不明	6
住居 確保 給付 金	相談件数	7
	支給決定件数	4

※一度に複数の相談事項がある場合があるため、相談事項件数の合計と相談件数は一致しません。

#### ・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会権利擁護推進室からの委託事業で、対象者は認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方である。令和元年度は、増加している利用者へのサービスの質の向上を大きな目標としてきました。

相談者	一般相談 件数	サービス提供の ための活動件数	新規契約 件数	解約件数	年度末 実利用者数
認知症高齢者	79件	241回	4件	2件	12人
知的障がい者	82件	555回	3件	3件	16人
精神障がい者	209件	1054回	3件	1件	22人
その他	0件	0回	0件	0件	0人
合計	370件	1850回	10件	6件	50人

専門員・支援員参加の研修会等

大阪後見支援センター主催の各種会議・研修会に参加

## ・心配ごと相談事業

地域内の心配ごとや悩みごとに対処するため、民生委員の協力により心配ごと相談事業を、東部地区・西部地区で毎月1回づつ実施し、地域福祉の向上に寄与しました。

(取扱件数) ・相談員 63人

・相談件数 12件 (内 東部地区相談件数 8件・内西部地区相談件数 4件)

(単位:件)

相談事項	東 部	西 部	相談事項	東 部	西 部
生 計	0	0	財 産	2	0
年 金	0	0	事 故	0	0
職業・生業	0	0	児童福祉・母子保健	0	0
住 宅	0	1	教育・青少年	0	0
家 族	0	0	障がい者(児)福祉	0	0
結 婚	0	0	母子福祉・父子福祉	1	0
離 婚	0	0	老人福祉	1	2
健康・保健・衛生	1	0	苦 情	1	0
医 療	0	0	そ の 他	2	1
人権・法律	0	0	合 計	8	4

※一度に複数の相談事項がある場合があるため、相談事項件数の合計と相談件数は一致しません。

※令和2年2月27日・3月12日・3月26日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

※心配ごと相談事業は、今年度をもって事業終了。

## ・老人会食会事業

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年3回給食ボランティアの会食サービス「あじわい」と民生委員の協力により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しました。

【参加人数】

(単位:人)

校 区	第1期	第2期	第3期	計
古 市	71	61	60	192
古市南	83	84	0	167
白 鳥	25	20	26	71
高 鷲	26	30	35	91
高鷲北	33	34	0	67
高鷲南	32	36	0	68
恵我之荘	39	35	0	74
埴 生	61	42	55	158
埴生南	62	53	50	165
羽曳が丘	87	75	76	238
西浦東	42	41	40	123
丹 比	32	35	0	67
駒ヶ谷	49	50	0	99
西 浦	40	34	0	74
合 計	682	630	342	1,654

計36回開催 延べ参加人数1,654人

※駒ヶ谷校区、西浦校区は配食

※令和2年2月26日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

## ・生活福祉資金貸付事業

低所得階層の生活の向上ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

### 【貸付状況】

区 分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	46件	69件	14件	1,415千円
教育支援資金	51件	104件	33件	21,791千円
総合支援資金	1件	0件	0件	0千円
不動産担保型生活資金	3件	13件	0件	0千円
緊急小口資金	11件	32件	12件	1,161千円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0円
新型コロナウイルス感染症 特例貸付（緊急小口資金）※	30件	51件	0件	0円
新型コロナウイルス感染症 特例貸付（総合支援資金）※	1件	1件	0件	0円
合 計	143件	270件	59件	24,367千円

※新型コロナウイルス感染症特例貸付は、令和2年3月25日より受付開始

## ・災害時要援護者支援ネットワーク構築事業

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、町会や校区福祉委員会など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようというものです。また、この制度に登録された方は、そのまま「あんしんシステム」に登録されることになります。

従来の「あんしんシステム」の枠をひろげ、地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がりました。

### 災害時要援護者

- ①身体障がい者手帳（1級、2級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方
- ⑤要介護度3以上の方
- ⑥65歳以上のお一人暮らし、75才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（令和2年3月末現在）

古市	高鷲北	埴生	埴生南	羽曳が丘	丹比	駒ヶ谷	古市南
303人	151人	302人	322人	367人	366人	76人	317人

西浦	西浦東	恵我之荘	白鳥	高鷲	高鷲南	合計	
145人	97人	185人	99人	272人	331人	3,333人	

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が行われました。

校区ごとの参加人数

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
295人	415人	245人	235人	267人	302人	353人	113人

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合計	
174人	240人	254人	372人	123人	42人	3,430人	

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 287日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動できるようボランティア保険への加入促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	移送保険	合計
団体数	223件	448件	4件	1件	676件
人数	1,758人	24,317人	14人	8人	26,097人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
38件	52件	15件	8件	12件	125件

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しました。

講座名	日程・場所	内 容
ボランティア体験プログラム	令和元年 7月1日～ 9月30日	大阪府社会福祉協議会の主催で毎年開催されているプログラムで、子どもから社会人、高齢者などボランティア活動参加の機会とボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする場の提供を目的として校区福祉委員会や施設などに受入れを依頼し、共催した。
傾聴ボランティア養成講座	令和元年 6月14日 ・21日	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止めるボランティアを養成するために開催した。初心者必須の講座。
精神保健福祉ボランティア養成講座	令和元年 6月8日・ 15日・22日 ・29日	こころの病を持つ方が増加傾向にある現代、その方々が安心して暮らせる地域を一緒に作るために、精神障がいについて正しい知識を得ることで偏見や差別をなくすことを目的に開催した。
朗読ボランティア 河南ブロック代表者会議	令和元年 10月4日	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、今年度は富田林市へ出向いて「録音技術・編集」「朗読スキルアップ・募集」「リスナーさんの拡大」の3つのテーマで、現状報告・情報交換など活発な意見交換をおこなった。
小学生ボランティアスクール	令和元年 7月30日	小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育てるボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催した。
市民活動わくわく講座9月 バルーンアートボランティア 養成講座	令和元年 9月12日・ 19日	バルーンアートは特に子供が集うイベントなどでは大変人気であり、ボランティア活動としての需要も充分見込める内容である。子供と関わるボランティア活動の発掘をねらい開催した。
市民活動わくわく講11月 折り紙ボランティア養成講座	令和元年 11月8日・ 15日・22日	手先が器用で、人と関わるのが好きな市民の方はおそらく多数いると思われるため、自分の特技を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動の啓発を目的とする。また、今回の募集は男性でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい開催した。

市民活動わくわく講12月 災害ボランティア養成講座	令和元年 12月14日	南海トラフ地震への備えや、近年多発している台風などによる水災害に対する備えが必要不可欠であり、災害現場で活躍できる人材の育成や増員は最重要である。実際に被災現場で活躍している特殊技術を身に付けたボランティア経験者（プロボノ）をお招きして羽曳野市で災害が起きた際に現地で活躍してもらえる人材の確保を目的に開催した。
市民活動わくわく講座1月 傾聴ボランティア養成講座	令和元年 1月24日・ 31日・2月4日	傾聴の知識は他のボランティア活動をおこなう場合でも必要なスキルであるため、ボランティア活動入門の場として開催した。市内でボランティア活動に興味がある方にとって気軽に始めやすい分野であることから、ボランティア入門として広い視野をもってニーズキャッチをはかった。

### ・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民又、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

ボランティア連絡会総会	令和元年5月23日/羽曳野市役所別館3階会議室
定例幹事会	毎月第2水曜日
その他主な活動	令和元年 5月22日/大阪社会福祉指導センター 令和元年 6月 9日/羽曳野市立中央スポーツ公園 令和元年 7月20日・21日/LICはびきの 令和元年 7月30日/市役所別館2階研修室 令和元年 9月 4日/大阪府社会福祉会館 令和元年11月28日/堺市 令和元年12月 8日/石川スポーツ公園 令和元年 2月19日/太子町立総合福祉センター 令和2年 2月5日/大阪社会福祉指導センター 令和元年 3月15日/エコプラザはこふ ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止 障がい者団体行事・高齢者施設行事 随時 保健センター各種教室 随時

### ・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座や情報交換会を開催し、災害ボランティアへの参画を促しました。

昨年度に引き続き、災害ボランティアセンター設置時に使用する備品を整備しました。

今年度から羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」が結成され、災害ボランティアセンター設置時に協力できる体制作りに向けてグループと連携し、養成講座を開催しました。

災害ボランティア情報交換会	令和元年 7月18日	昨年度の養成講座を経て、災害ボランティア登録者同士の経験談などを情報交換としてそれぞれ話し合う機会を設けた。 (参加者19名)
3市合同災害ボランティア養成講座	令和元年 11月9日	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の3社協合同で大阪府富田林土木事務所を講師に招いて、南海トラフ・風水害における自助と共助の講義を受けた後、クロスロード（グループディスカッション）をおこなった。(参加者 32名)
市民活動わくわく講12月 災害ボランティア養成講座	令和元年 12月14日	南海トラフ地震への備えや、近年多発している台風などによる水災害に対する備えが必要不可欠であり、災害現場で活躍できる人材の育成や増員は最重要である。実際に被災現場で活躍している特殊技術を身に付けたボランティア経験者（プロボノ）をお招きして羽曳野市で災害が起きた際に現地で活躍してもらえる人材の確保を目的に開催した。

## ■ 実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

### ・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪府立大学	6人	令和元年5月7日～5月10日	2日間
大阪府立大学	6人	令和元年5月13日～5月16日	2日間

### ・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1人	令和元年 6月3日～ 7月5日	180時間 23日以上
四天王寺大学	2人	令和元年11月11日～11月22日	10日間

## ■ きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成27年7月1日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動に際して講習会を開催

きらきらシニアプロジェクトはじめて講座	令和元年6月14日・12月5日
---------------------	-----------------

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数 293人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護保険支援サポーター活動を対象としている。

サポーター受入施設 66施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録しています。

■ 在宅福祉活動

・ 居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保健施設との連絡調整等を行いました。

・ 新規相談件数 …… 70件

・ 要介護認定利用者 [年度末現在の居宅介護支援者数]

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	28人	40人	11人	13人	9人	101人
内31年度新規	12人	12人	0人	5人	0人	29人

・ 要支援認定利用者 [年度末現在の居宅介護支援者数]

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
利用者数	19人	22人	0人	41人
内31年度新規	3人	8人	0人	11人

・ 羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 90件 (生活保護法介護扶助) 16件

・ ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。



介護度別利用状況（年度末現在利用者数） 東部

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい者世帯	計
利用者数	43人	13人	10人	6人	7人	3人	18人	100人
内31年度新規	27人	9人	4人	2人	3人	1人	3人	49人

内容別年間派遣時間数 東部

(単位:時間)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	障がい	総合計
生活援助	1,896:40	705:54	577:38	702:29	145:25	47:36	2,179:02	1,554:17	7,809:01
身体介護		210:05	133:57	243:20	54:40	550:21	1,192:23	1,854:07	4,238:53
身体生活		252:43	207:00	476:35	179:05	2:40	1,118:03		2,236:06
通院・身体								2:45	2:45
通院介助									
重度介護								94:00	94:00
合計	1,896:40	1,168:42	918:35	1,422:24	379:10	600:37	4,489:28	3,505:09	14,380:45

・福祉有償運送事業（移送サービス事業）

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを実施しました。

【実施状況】利用登録者数27人 協力ボランティア8人

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出勤回数	6回	4回	4回	3回	4回	4回	1回	4回	3回	4回	3回	3回	43回

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	28件	18件	26件	39件	23件	43件	56件	38件	23件	29件	21件	33件	377件

【斡旋】

紙オムツ・防水シート・失禁パンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

## ■ 介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助を図りました。

日時	事業内容	場所	参加者
4月18日(木)	役員会	ボランティアセンター	6人
5月20日(月)	総会・講演【みんなの認知症予防ゲーム】	別館2階研修室	25人
7月19日(金)	介護者のつどい【茶話会】	別館2階研修室	21人
9月6日(金)	役員会	西部事務所	5人
9月20日(木)	介護者のつどい【認知症公開講演会】	別館2階研修室	15人
10月30日(水)	リフレッシュバスツアー【平城宮跡歴史公園】	奈良市	27人
12月13日(金)	介護者のつどい【干支の飾り物教室・交流会】	西部事務所	16人
12月13日(金)	役員会	西部事務所	5人
2月7日(金)	介護者のつどい【アロマセラピー講習会】	西部事務所	19人
3月13日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	視察研修会(別紙7) 【ATC エイジレスセンター・堺伝統産業会館】	大阪市・堺市	————

(その他) ・大阪府介護者(家族)の会連絡会総会 6月14日(金)  
 ・河南ブロック介護者(家族)の会交流会 11月11日(月)  
 ・大阪府介護者(家族)の会活動交流会 【中止】※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

## ■ 各種募金活動等の推進

### ・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

### 【社資募集実績】

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	614,550円	西浦地区	1,163,239円
高鷲地区	1,290,790円	丹比地区	210,100円
埴生地区	492,490円	日赤奉仕団扱い	45,200円
羽曳が丘地区	787,510円	事務局扱い	7,001円
駒ヶ谷地区	317,000円	大阪支部扱い	1,401,836円
合計			6,329,716円

【事業】・羽曳野市赤十字奉仕団研修 平成31年4月26日(市役所別館 3階会議室)

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【街頭募金活動】：令和元年10月1日 駅・スーパー 16か所 述べ参加人数 148人

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法人	学校	街頭	バッジ	実績額
2,861,016円	84,227円	242,251円	147,343円	498,500円	3,833,337円

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	511,050円	丹比地区	126,075円
高鷲地区	818,150円	西浦地区	407,050円
埴生地区	387,340円	駒ヶ谷地区	134,200円
羽曳が丘地区	452,175円	事務局扱い	24,976円
合計			2,861,016円

※地区募金会理事会 令和元年9月3日 (市長会議室)

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	467,150円	丹比地区	200,325円
高鷲地区	654,765円	西浦地区	229,900円
埴生地区	532,590円	駒ヶ谷地区	118,800円
羽曳が丘地区	394,075円	事務局扱い	320,387円
合計			2,917,992円

(民生委員校区別実績額)

校区名	実績額	校区名	実績額
古市校区	557,300円	高鷲南校区	111,000円
古市南校区	115,000円	高鷲校区	216,160円
白鳥校区	270,000円	駒ヶ谷校区	98,000円
埴生南校区	69,724円	高鷲北校区	158,500円
埴生校区	105,300円	丹比校区	336,000円
西浦校区	192,500円	恵我之荘校区	308,500円
西浦東校区	115,500円	主任児童委員	32,000円

羽曳が丘校区	14,000円		
合 計		2,699,484円	

※ 配分委員会 令和元年11月18日（市役所別館 3階第2・3会議室）

配分内容

民生児童委員協議会福祉活動費、校区福祉委員会推進費、子育てサロン運営費、子ども食堂運営費  
児童養護施設お年玉、福祉施設サンタクロース訪問 他

## ・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

### ・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議：平成31年4月26日（市役所別館 3階会議室）

### ・啓発活動

市広報紙・社協だよりに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内及び大学において献血キャンペーン用のポケットティッシュ及び絆創膏を配付しました。

## 【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml採血	400ml採血
1,543人	1,293人	120人	1,173人

## ・義援金受付及び被災地支援活動

### ・義援金の受付

東日本大震災	令和2年3月末現在	45,052,138円
熊本地震	令和2年3月末現在	3,907,674円
平成29年7月5日からの大雨災害	令和2年3月末現在	100,000円
7月豪雨災害	令和2年3月末現在	919,697円
北海道胆振東部地震	令和2年3月末現在	281,649円
令和元年台風第15号	令和2年3月末現在	1,000円
令和元年台風第19号	令和2年3月末現在	426,596円

（社協受付分 全額 日本赤十字社大阪府支部に送金）

### ・被災地支援活動

#### ・職員派遣

「令和元年台風第19号」

福島県郡山市 令和元年11月5日～11日 職員 1名

#### ・河南ブロック社協連絡会ボランティアバス運行

「令和元年台風第19号」

長野県長野市北部 令和元年11月15日～17日 ボランティア 2名 職員 1名

## ■ 職員研修会

### ・ 人権研修

全職員対象にDVD などによる人権研修会を開催

## ■ 保育園の運営

### あおぞら保育園

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	144	145	147	147	148	148	148	151	152	152	152	152	1,786

※認可定員: 120人

### 保育内容

入園式・進級式・家庭訪問(新入園児)・検便(年1回)・検尿検査(年2回)  
 嘱託医による健康診断(年2回) 歯科検診(年1回)・保育参観(年2回)・園外保育(年8回)  
 クラス懇談会(年2回)・個人懇談・七夕まつり・お泊り保育・運動会・クリーン活動・保幼交流  
 芋掘り・味覚狩り・作品展・消防訓練・交通安全講習会・餅つき大会  
 雪山遊び・節分・生活発表会・古市小学校体験入学・お別れバス遠足・お別れ会・修了式・卒園式・食育  
 クッキング・ランチルーム・身体測定・避難訓練・お誕生日会(毎月1回)

### 延長保育

【朝の延長: 7時~7時半】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	13	2	6	9	1	7	7	12	1	0	1	0	59

【夕方の延長: 18時半~19時】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	35	51	61	67	56	52	76	54	41	33	37	47	610

### 特別教室の実施

- ・ ECC 英会話教室
- ・ ダンス教室・体育教室

※ 3歳児より導入

## 子育て支援事業

- ・育児相談（開園中常時）
- ・園庭開放（年11回）
- ・子育て支援自主事業  
（年18回 地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う）
- ・子育てサロン参加（年9回）

## 地域交流

- ・世代間交流（地域の高齢者を招いて給食会を行う） 6月
- ・夕涼み会（園児、卒園児、地域住民と交流） 7月
- ・敬老の日の集い（園児のおじいちゃんおばあちゃんを招待） 9月
- ・在宅複合施設ステップ訪問（施設の利用者と交流） 10月 2月
- ・介護老人保健施設まほろば訪問（施設の利用者と交流） 11月
- ・古市校区会食会（参加者と交流） 10月
- ・防災訓練（地域の親子参加） 9月
- ・おもちつき会（地域の親子参加） 12月
- ・クリスマス会（地域の親子参加） 12月
- ・新年子どもの会（地域の親子参加） 1月
- ・交通安全講習会（地域の親子参加） 2月
- ・南大阪ブロック民間保育園運動会参加（南大阪民間保育園と交流） 6月
- ・南大阪ブロック民間保育園サッカー大会参加（南大阪民間保育園と交流） 2月
- ・園児の祖父農園（芋掘り） 10月
- ・中川さんの農園（芋掘り） 9月
- ・古市幼稚園・誉田保育園交流 6月 10月 1月 計3回
- ・誉田中学校職業体験受け入れ 2日間 2人
- ・峰塚中学校職業体験受け入れ 2日間 5人
- ・河原城中学校職業体験受け入れ 2日間 3人
- ・高鷲中学校職業体験受け入れ 2日間 4人
- ・高鷲南中学校職業体験受け入れ 2日間 4人
- ・教育実習生受け入れ 6月2人 8月3人 12月3人 2月3人 計11人
- ・ボランティア体験学習の受け入れ 8月2人 1月1人
- ・高校生5日間の夢体験 7月4人
- ・他施設実習生受け入れ 6月1人

## 職員研修

### 園長・園長代理研修

- ・保育施設長研修会 1人（1/22. 23. 24）
- ・キャリアアップ（主任、主幹） 1人（10/16. 17. 18）
- ・主任研修会 1人（11/20）
- ・刑務所見学会 1人（1/16）
- ・介護者の集い 1人（2/7）

### 保育士研修

- ・CSW、スマイルサポーター連絡会 1人（5/22）
- ・食中毒予防及び衛生管理 1人（5/31）
- ・感染症、食中毒予防 1人（6/6）
- ・キャリアパス（中堅研修） 1人（6/6. 10. 24）
- ・スマイルサポーター養成研修 1人（6/7. 11. 7/18. 25. 31. 8/27. 9/6. 18）

- ・キャリアアップ(幼児教育研修) 1人 (6/13. 7/2. 8/29. 10/21. 11/25)
- ・事故防止研修 1人 (6/10)
- ・造形研修 1人 (6/20)
- ・心肺蘇生 16人 (6/26)
- ・保健師、看護師研修会 1人 (7/1)
- ・キャリアアップ(乳児保育研修) 1人 (7/3. 4. 5)
- ・防災研修 1人 (7/11)
- ・健康安全研修会 1人 (7/17)
- ・発達障害研修 1人 (7/25. 8/8)
- ・相談援助技術研修会 1人 (9/4)
- ・キャリアアップ(食育、アレルギー対応) 1人 (10/2. 3. 4)
- ・キャリアパス(中堅研修) 1人 (10/15. 23. 31)
- ・スマイルサポーターフォローアップ 1人 (11/8)
- ・キャリアアップ(保健衛生安全対策) 1人 (11/11. 19. 22)
- ・キャリアアップ(乳児保育研修) 1人 (11/13. 20. 21)
- ・キャリアアップ(幼児教育研修) 2人 (11/18. 25. 28)
- ・大阪しあわせネットワーク 1人 (11/19)
- ・特定給食研修会 1人 (11/19)
- ・特定給食講演会 1人 (12/4)
- ・乳児保育研修 2人 (1/10. 23)
- ・刑務所見学会 1人 (1/16)
- ・スマイルサポーターフォローアップ 2人 (1/23)
- ・乳幼児家庭の教育向上事業実践 1人 (1/24)
- ・ソーシャルワーカー 2人 (1/27)
- ・虐待の早期発見と支援 2人 (2/7)
- ・介護者の集い 1人 (2/7)
- ・人権研修 36人 (3/24)

## ベビーハウス社協

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	120	119	120	120	123	125	126	126	126	126	126	126	1,483

※認可定員：120人

## 保育内容

入園進級式、個人懇談(年1回)、クラス懇談(年1回)、参観(年2回)、幼児遠足(春・秋)、乳児お散歩遠足(秋)、こいのぼり見学(5歳児)、南大阪ブロック大運動会参加(5歳児)、消防訓練、プール活動、七夕、ぶどう狩り(5歳児)、お泊まり保育、検便・尿検査(年1回)・内科検診(年2回)、歯科検診(年1回)、運動会、ハロウィン、みかん狩り(5歳児)、クリスマス会、大そうじ、クッキー作り、節分、お別れ遠足、ひなまつり、ゆめっこの会、卒園式  
※毎月1回お誕生日会、避難訓練、身体測定

## 延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	132	131	144	148	105	118	140	148	122	117	126	134	1567

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	24	27	37	29	25	26	37	45	41	34	34	41	400

**緊急一時保育**

7時～20時

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野市内の園児数	65	79	92	111	109	123	151	181	196	177	176	188	1,648
他市町村の園児数	20	16	9	22	21	23	27	23	23	17	8	0	209

**家庭支援推進保育所事業** (育児相談・家庭訪問)

配慮を要する入所児童への家庭訪問、育児相談・・・34件

在宅子育て家庭への家庭訪問、育児相談・・・66件

**子育て支援事業**

- ・園庭開放 (ベビっこひろば) (年8回)
- ・ベビーハウスまつり (年1回) (5/26)
- ・子育てサロン (年8回) : たかなんの保育士派遣

**地域交流**

- ・世代間交流 (北宮中部公民館にて実施されているお年寄り会食会に年長組が参加し交流) (7/10)
- ・ベビーハウスまつり (園児、卒園児、地域住民と交流) (5/26)
- ・南大阪ブロック民間保育園大運動会参加 (南大阪民間保育園と交流) (6/18)
- ・高鷲南中学職業体験学習の受け入れ 5人 (2日間) (10/31、11/1)
- ・高鷲中学職業体験学習の受け入れ 5人 (2日間) (11/7、11/8)
- ・教育実習生の受け入れ 計5人
  - 大阪こども専門学校 こども総合学科 1名 1年 6/3～6/14・7/22～8/2
  - 関西女子短期大学 保育科 1名 1年 7/29～8/8
  - 関西女子短期大学部 保育科 2名 2年 1/27～2/7
  - 四天王寺大学短期大学部 保育科 1名 2年 1/30～2/13
- ・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ 38名 (12/10)
- ・ボランティア受け入れ 中央 IT ビジネス専門学校 2名 (8/1・2・5)



## 職員研修

### 保育士研修

- ・危機管理危機対応研修 4名(4/23)・1名(5/10)
- ・キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援) 1名(5/28・6/12・7/5・9/2・11/14)
- ・キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策) 1名(5/30・6/17・7/19・11/1)
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1人(6/4)
- ・キャリアアップ研修(幼児教育) 1名(6/13・7/2・8/29・10/21・11/25)
- ・キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応) 1名(6/18・7/30・8/8・11/14)
- ・救急蘇生DVDによる研修(全職員)(6/19~6/21)
- ・「プール活動 塩素の取り扱いについて」5名(6/28)
- ・さまざまな人権問題に関する研修会 1名(7/9)
- ・みんなができるダンス・歌・劇発表研修 2名(7/25)
- ・多様性(ダイバーシティ)の理解と人権 2名(7/31)
- ・幼児教育大講習会 2名(8/2)
- ・夏期障がい児保育講演会 1名(8/12)
- ・第1回保育園職員全体研修会 3名(9/18)
- ・三保健所管内特定給食研究会合同講演会 2名(10/1)
- ・防火管理資格取得講習会 2名(10/9・10)
- ・第2回保育園職員全体研修会 3名(11/18)
- ・大阪しあわせネットワーク 2名(1/16)
- ・人権研修DVD研修34名(3/24)